

事業全体の方向性について

令和2年度 第1回北海道管理河川の川づくりワーキング
令和2年（2020年）9月25日

1 . 河川・砂防事業全体の方向性

基本的な考え方

- * 第一に河川の安全度を高めることを考えて事業を実施し、その中で河川利用や環境保全等を図っていきます。

川づくりワーキング委員の専門性の活用

- * 各委員に、それぞれの方の専門性に関する調査等への同行を依頼するとともに、施工に関する助言をいただき計画の参考とします。

親水性

- * 水辺の楽校を中心に、立地条件等の状況（流下能力、学校、住宅地、沿川住民要望など）に合わせて親水性に配慮します。

重要種¹植物への対応

¹ 重要種：環境省や北海道のレッドリストなどで指定された生物

- * 施工範囲の重要種植物については、可能な限り保全や移植を検討します。

樹木伐採時の保全対象

- * 持続性広葉樹など保全候補樹種を極力保全するとともに、線状の保全を検討します。